

# 「こどもの明るい未来について考える」

ー市民と市長との対話ミーティング with 宇治市連合育友会ー

1/25(木)に「こどもの明るい未来について考える」をテーマに宇治市長と宇治市連合育友会との「対話ミーティング」を開催いたしました。

宇治市の市長公室 秘書広報課より、夏前から開催について打診を受けていたのですが、秋には主催行事や関連イベント・単 P 行事等も多く、この時期の開催となりました。

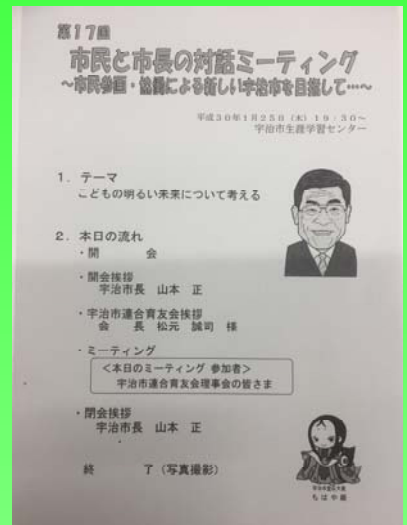
「市長と市民の対話ミーティング」は「市民参画・協働を推進するとともに地域力の向上を図り、新しい宇治に向けたまちづくりを推進するため、テーマに応じて、市長と参加者の皆さんが忌憚のない意見交換をする」という市長の方針に基づき、今回の宇治市連合育友会との対話ミーティングで第17回を数えるものであります。

今回の開催にあたっては、宇治市連合育友会の臨時理事会に、宇治市長を招いて行うという形をとらせて戴きました。当日、宇治市より山本正宇治市長をお迎えし、宇治市連合育友会からは市内31小中学校のほぼ全てから理事(代理を含む)が出席し開催することが出来ました。

市長、連合育友会長の挨拶に引き続き、ミーティングに入りました。ミーティングは、1. 宇治市の教育に関して 2. いじめに関して(SNSを含む) 3. 学校の課題に関して(学校給食等を含む) 4. その他 と大きく分野を分けての意見交換となりました。

各項目とも代表質問の後、市長からご意見を伺い、その後各理事から意見を述べる形をとりましたが、予想以上に各校理事からも意見があり、また市長からも丁寧にご見解をお伺いした為、予定時間を超え最後は、後日理事会にて再度各理事からの意見を聴取するという形になりました。最後に参加者全員で記念撮影をし終了致しました。

開催にあたり御尽力賜りました、宇治市市長公室秘書広報課の皆様、宇治市教育委員会教育支援課の皆様、ご協力ありがとうございました。



対話ミーティングの様子と最後の集合写真



様子を伝える地元紙  
「城南新報」と「洛南タイムス」

